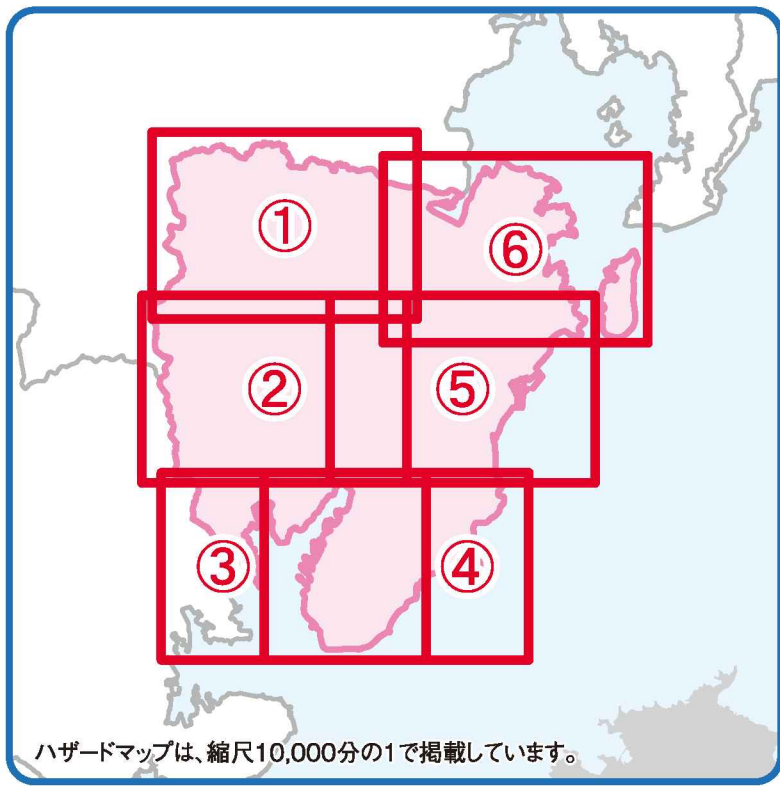


ハザードマップの見方

このハザードマップに示した危険区域以外にも、災害が発生する可能性がありますのでご注意ください。

洪水・土砂災害ハザードマップ



対象河川		前提となる降雨 (想定最大規模)	指定年月日
水位周知河川	大宮地川水系大宮地川	大宮地川流域の 6時間雨量598mm	R2.3.27
	流合川水系流合川	流合川流域の 6時間雨量630mm	R2.3.27
水位周知河川以外	大宮地川水系大宮地川	流域全体に 6時間の総雨量598mm	R3.10.15
	大宮地川水系碓石川	流域全体に 6時間の総雨量598mm	R3.10.15
	中田川水系中田川	流域全体に 6時間の総雨量598mm	R3.10.15

●洪水浸水想定区域について

想定最大規模の大雨に伴う洪水によって天草市新和地域に係る河川が氾濫した場合の「浸水する範囲(浸水域)」と「浸水する深さ(浸水深)」を地図上に示しています。

●土砂災害警戒区域・特別警戒区域について

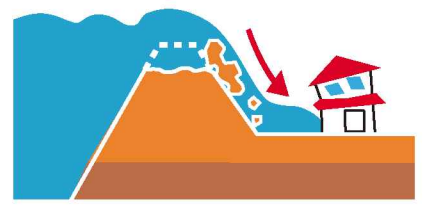
熊本県が告示した、「急傾斜地の崩壊」、「土石流」、「地すべり」の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を示しています。(令和5年度末時点)

●家屋倒壊等氾濫想定区域(早期の立退き避難が必要な区域)

家屋の倒壊・流出等の危険がある区域の目安として、家屋倒壊等氾濫想定区域を示しています。

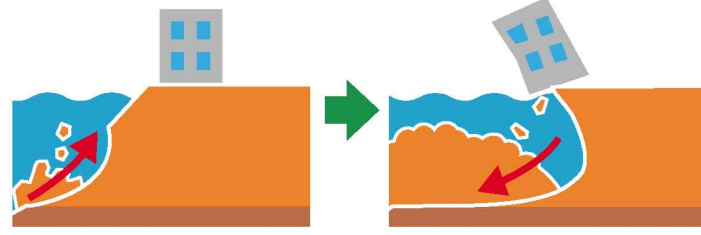
氾濫流による家屋倒壊等

堤防決壊などによる氾濫流によって木造家屋が流出・倒壊するおそれがある区域

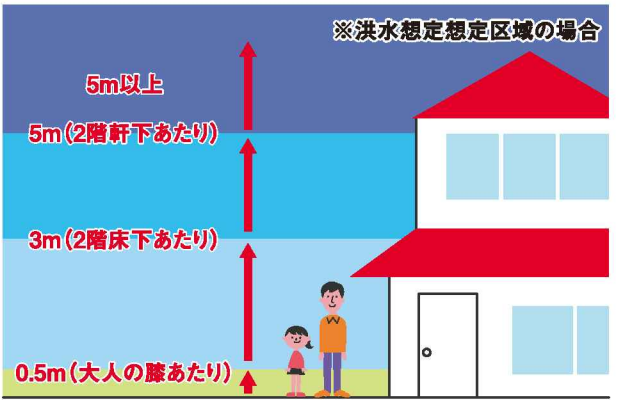


河岸侵食による家屋倒壊等

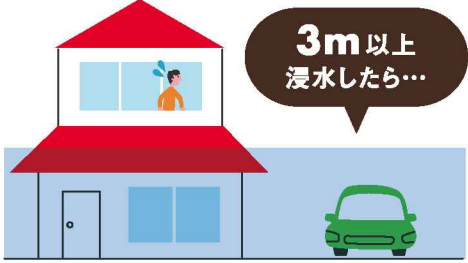
洪水時の河岸侵食によって、木造・非木造の家屋が流出・倒壊するおそれがある区域



●想定浸水深の目安

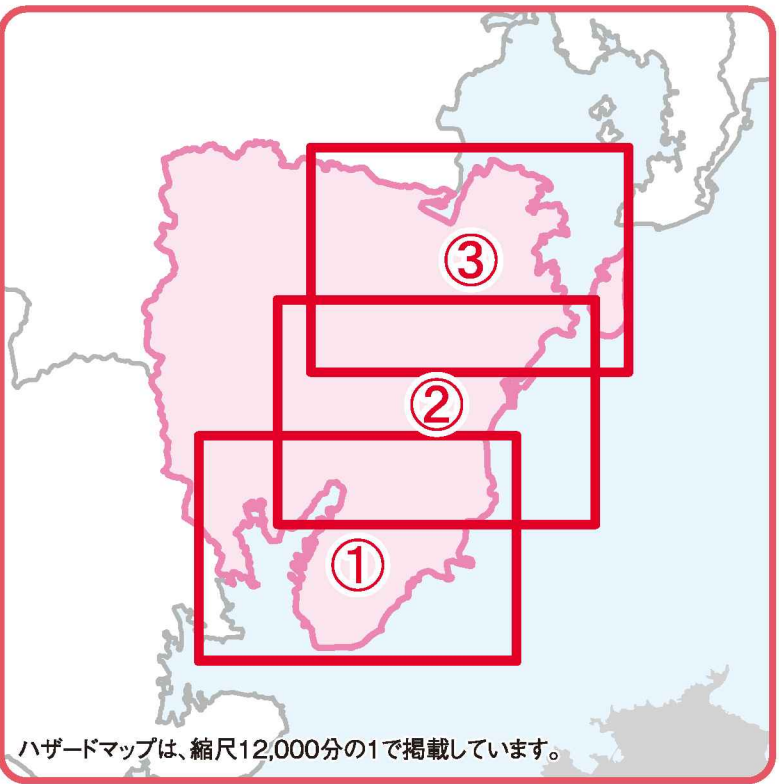


家屋が床上浸水します。また、自動車の走行が不可能となるばかりか歩くことも困難になり、生活に重大な影響がでます。



家屋の1階がすべて水につかってしまい、家財道具などに重大な被害がでます。また、3m以上の浸水になると2階以上も水につかります。

高潮ハザードマップ



●高潮浸水想定区域について

熊本県が令和3年11月に作成した、最大クラスの台風に伴う高潮が発生したときの高潮浸水想定区域を地図上に示しています。
高潮浸水想定区域の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、台風の強さと経路を複数設定してシミュレーションを行い、各地点で一番浸水の深いものを地図上に示しています。

- 中心気圧:室戸台風(1934年)を基本(900hPa)
- 台風の半径:75km(伊勢湾台風(1959年)を参考)を採用
- 台風の移動速度:73km/h(同上)を採用
(天草沿岸の一部で、波高が最大となる50km/hを採用)
- 潮位:各海域の朔望平均満潮位に、異常潮位0.128mを考慮
- 構造物:護岸、堤防等は全て決壊

※朔望(さくぼう) 平均満潮位:新月(朔) および満月(望)の日から5日以内に現れる各月の最高満潮面について、1年以上にわたって平均した値。

ため池ハザードマップ



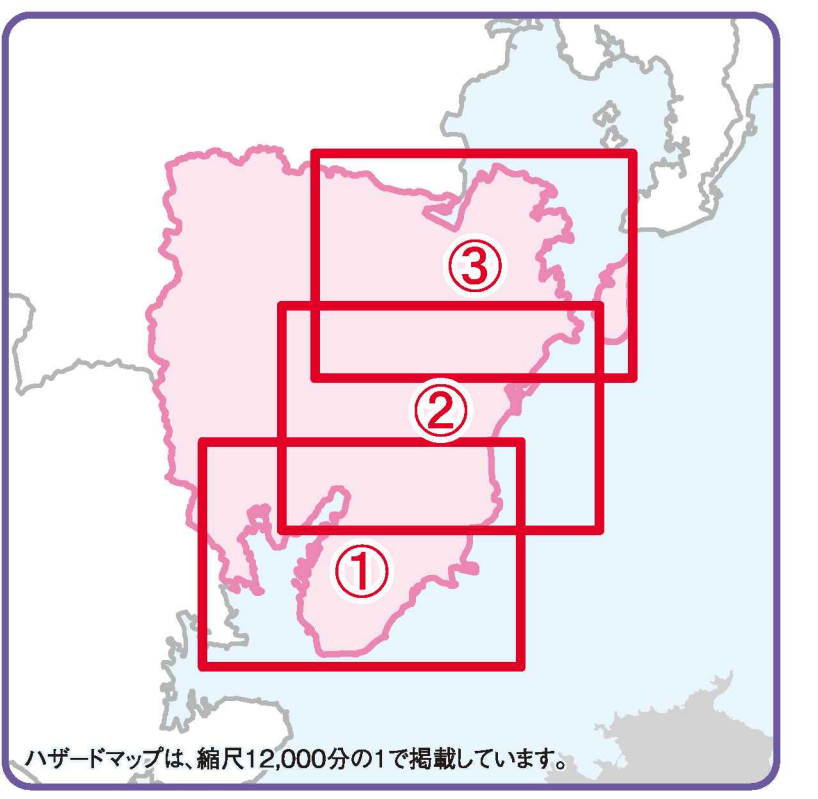
●ため池浸水想定区域について

このハザードマップは、堤体が豪雨や地震により破堤した場合を想定し、浸水被害が想定される範囲を示したものです。満水状態のため池が、大地震など何らかの原因で瞬時に決壊し、堰を切ったように全ての水が流れ出したものとしています。対象ため池以外のため池による決壊、周辺地域の河川や水路の氾濫、土砂災害などは考慮していないため、実際には違う浸水域となる場合もあります。各ため池の詳細な情報については、天草市HPよりご確認ください。

天草市 ため池ハザードマップ



津波ハザードマップ



●津波浸水想定区域について

熊本県内の沿岸部を対象に、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される「浸水する範囲(浸水域)」と「浸水する深さ(浸水深)」を示しています(平成25年3月 熊本県作成)。
津波の想定には3つの断層モデル「雲仙断層群」、「布田川・日奈久断層帯」、「南海トラフの巨大地震」を対象に6つのケースの津波を想定し、各計算結果の最大値を示しています。

- 潮位:各海域の朔望平均満潮位
- 構造物:護岸、堤防等は全て決壊

※朔望(さくぼう) 平均満潮位:新月(朔) および満月(望)の日から5日以内に現れる各月の最高満潮面について、1年以上にわたって平均した値。